

教科に関する調査結果

【調査について】

実施日 令和8年4月22日（水）～ 4月30日（木）

実施対象 第5学年、第6学年の全児童

調査内容 第5学年：国語、算数、理科、わくわく問題
第6学年：理科、わくわく問題
※わくわく問題とは、教科横断型問題をさす。



各教科の平均正答率（堺市と大阪府）

教科	学年	平均正答率 （堺市） （％）	平均正答率 （大阪府） （％）	問題数	問題形式別正答率						児童数 （人）	
					選択式 （％）		短答式 （％）		記述式 （％）			
					堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府
国語	5年	70.9	70.3	17	72.4	71.9	69.6	68.9	－	－	6,165	62,730
算数		50.1	51.9	6	42.8	42.6	45.4	47.6	60.6	63.0	6,163	62,737
理科		59.5	60.1	11	61.4	62.2	60.7	60.5	43.1	44.4	6,161	62,839
わくわく		57.5	58.1	9	47.5	47.6	67.0	68.3	64.5	65.4	6,162	64,157
理科	6年	64.7	64.0	11	64.6	64.3	56.4	54.5	80.9	79.7	6,321	63,153
わくわく		68.4	68.5	9	57.3	57.3	78.4	78.9	76.5	76.6	6,317	64,469

※わくわく問題の問題形式は「選択・図表・記述」であり、図表形式の正答率は短答式の欄に記載している。

成果

- 国語では、「我が国の言語文化に関する事項」の区分において、慣用句の意味を正しく理解する問題に成果が見られた。
- 理科では、5年、6年ともに「生命」を柱とする領域の区分において成果が見られた。

課題

- 算数では、「測定／変化と関係」の区分において、伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□や△を用いて式に表す問題に課題が見られた。
- わくわく問題では、5年、6年ともに、文章から読み取った内容をもとに自身の考えを記述する問題に課題が見られた。

「総合的な学力の育成」に関わる堺市の取組

【各種調査結果の活用】

- ・こどもが自身のつまずきに気づき、自ら学びを自覚して進められるよう「ドリルパークで学ぶ力を育てようシート」を提供。
- ・調査結果を「授業の改善ポイント」にまとめ、つまずきのポイントや9年間の指導の系統性を示し、学力向上に向けた効果的なカリキュラム改善を支援。
- ・全国学力・学習状況調査に加え、IRTを活用した堺市学力・学習状況調査（小4～中2対象）を年1回実施。委員会及び学校が調査結果を活用し、個に応じた指導支援の工夫や教育実践の改善を推進。

【授業改善の推進】

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実装に向け、こどもが自らの学びを自覚して進める授業づくりを図り、校内研修を軸に個々の学びの状況を把握することも理解と、それを支える教科の本質を捉える教材理解の双方から授業改善に取り組む。
- ・総合的な学習の時間において、地域や社会とのつながりを大切に、教科の視点の充実を図りながら、より探究的な学びを進めるために「堺STEAMブック」を作成し授業で活用。等

小学5年 国語

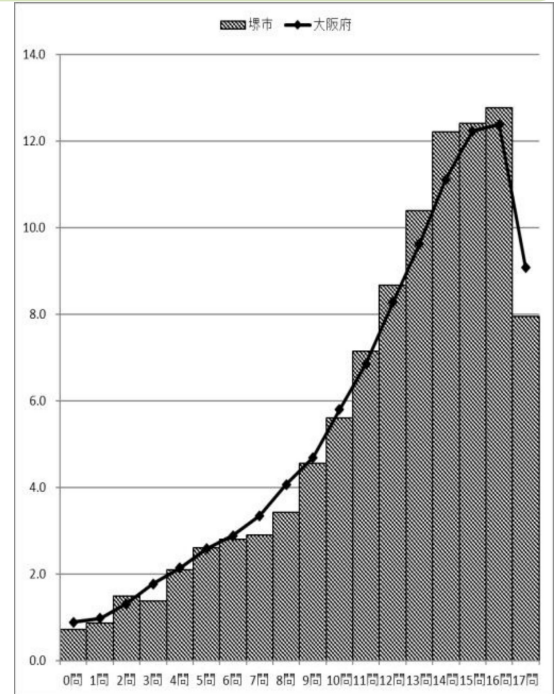
調査結果からわかる本市の状況と学びの改善ポイント

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の区分では、文中における言葉の意味を捉え、その反対の意味を表す言葉を答える問題に課題が見られた。類義語や対義語、上位語・下位語などの語句と語句との関係の理解を深めることを通して、言葉の使い方に対する感覚を豊かにし、言葉を吟味できるようにする。（問題番号6より）

領域等別の結果、正答数分布グラフ（堺市と大阪府）

分類		区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
				堺市	大阪府
		全体	17	70.9	70.3
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	15	70.3	69.8
		(2)情報の扱い方に関する事項	1	75.4	75.6
		(3)我が国の言語文化に関する事項	1	75.9	72.5
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	—	—	—
		書くこと	5	68.0	67.8
		読むこと	—	—	—
評価の観点	知識・技能		17	70.9	70.3
	思考・判断・表現		5	68.0	67.8
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—
問題形式	選択式		8	72.4	71.9
	短答式		9	69.6	68.9
	記述式		—	—	—

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。



小学5年 算数

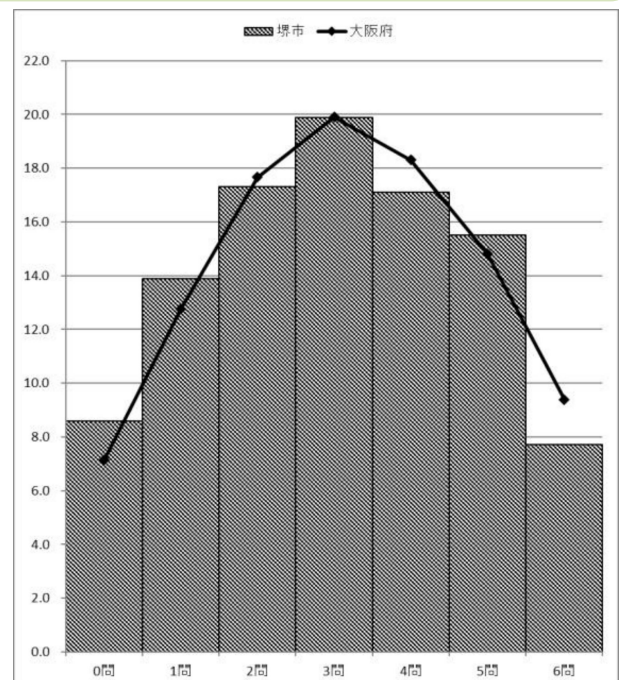
調査結果からわかる本市の状況と学びの改善ポイント

「測定／変化と関係」の区分では、特に、伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□、△を用いて式に表す問題に課題が見られた。対応する値の組を順序よく表などに整理したり、式を用いて表したりして、変化や対応の特徴としての規則性があるかどうかについて明らかにできるようにする。（問題番号2（1）より）

領域等別の結果、正答数分布グラフ（堺市と大阪府）

分類		区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
				堺市	大阪府
		全体	6	50.1	51.9
学習指導要領の領域等	数と計算		3	37.9	39.3
	図形		2	51.4	52.1
	測定／変化と関係		2	50.5	54.0
	データの活用		1	61.2	64.4
評価の観点	知識・技能		4	44.8	46.4
	思考・判断・表現		2	60.6	63.0
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—
問題形式	選択式		1	42.8	42.6
	短答式		3	45.4	47.6
	記述式		2	60.6	63.0

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。



小学5年 理科

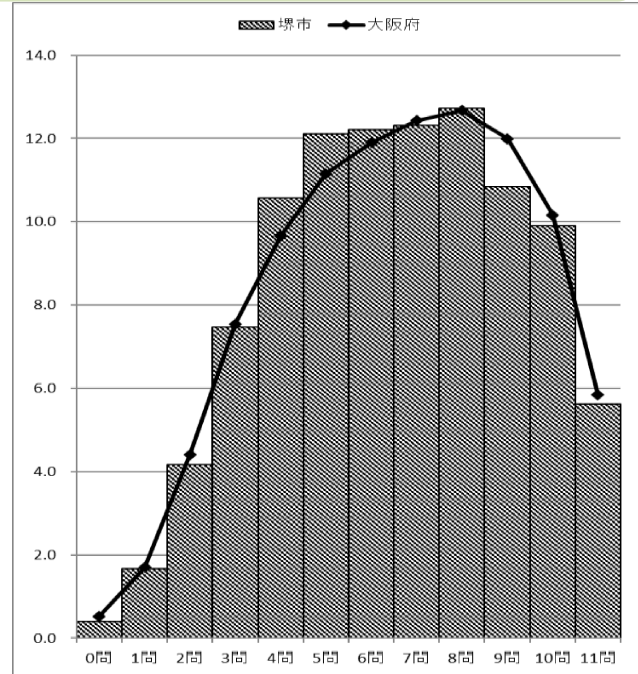
調査結果からわかる本市の状況と学びの改善ポイント

「エネルギーを柱とする領域」の区分では、物が動く力の働きの関係を考える問題に課題が見られた。輪ゴムで動く車をより遠くまで動かすために、ゴムが元に戻ろうとする力の大きさと物の動く様子との関係を調べる活動を通して、力の大きさを変えると物が動く様子も変わることを比較できるようにする。（問題番号2（1）より）

領域等別の結果、正答数分布グラフ（堺市と大阪府）

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			堺市	大阪府
全体		11	59.5	60.1
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	5	51.9	52.8
	「粒子」を柱とする領域	2	78.1	78.7
	「生命」を柱とする領域	1	59.2	57.3
	「地球」を柱とする領域	3	60.1	60.8
評価の観点	知識・技能	6	52.5	52.8
	思考・判断・表現	5	68.0	68.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	9	61.4	62.2
	短答式	3	60.7	60.5
	記述式	1	43.1	44.4

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。



小学6年 理科

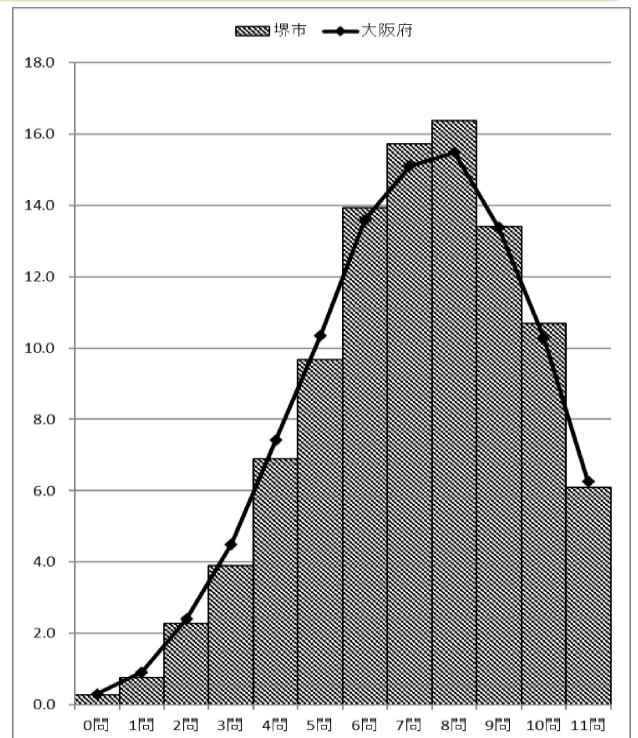
調査結果からわかる本市の状況と学びの改善ポイント

「地球を柱とする領域」の区分では、一日の太陽の位置の変化について理解する問題に課題が見られた。太陽や影の位置の変化を調べる活動では、方位磁針を用いて東西南北の方位をいろいろな場所で調べる活動を通して、空間的に方位を捉えられるようにする。（問題番号1（2）②より）

領域等別の結果、正答数分布グラフ（堺市と大阪府）

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			堺市	大阪府
全体		11	64.7	64.0
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	1	64.5	62.4
	「粒子」を柱とする領域	3	63.9	63.7
	「生命」を柱とする領域	2	57.2	54.1
	「地球」を柱とする領域	5	68.3	68.4
評価の観点	知識・技能	4	52.6	51.9
	思考・判断・表現	7	71.7	70.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	9	64.6	64.3
	短答式	2	56.4	54.5
	記述式	1	80.9	79.7

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。



小学5年 わくわく問題（教科横断型問題）

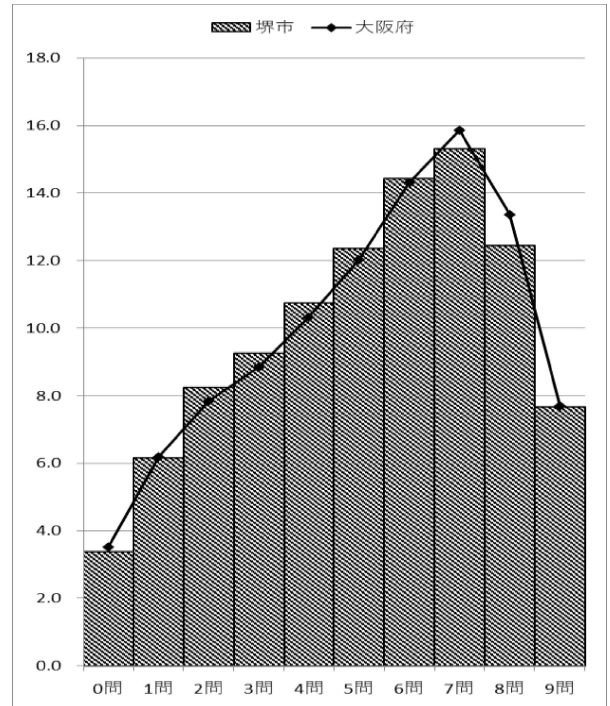
調査結果からわかる本市の状況と学びの改善ポイント

「図や表、グラフ、短い文章、会話等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える」の区分では、理由や根拠を明確にして書く問題に課題が見られた。「資料のどこからそう考えたのか」を問い、「〈考え〉＋〈理由は、資料の～から〉」の型で、根拠となる資料をもとにして自分の考えを書く経験を積み重ねる。（問題番号1（3）より）

領域等別の結果、正答数分布グラフ（堺市と大阪府）

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			堺市	大阪府
全体		9	57.5	58.1
観点 1	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	5	56.4	57.5
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	3	51.1	52.3
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	2	59.9	60.9
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	64.5	65.4
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	73.7	74.3
問題をとらえる	文章から読み取る	4	49.9	51.5
	会話から読み取る	3	53.8	53.8
	図や表から読み取る	7	61.7	62.2
伝える	資料の情報を整理して伝える	7	54.8	55.2
	自身で考えたことを伝える	3	64.5	65.4
	理由や根拠を明確にして伝える	2	59.9	60.9
問題形式	選択	4	47.5	47.6
	図表	2	67.0	68.3
	記述	3	64.5	65.4

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。



小学6年 わくわく問題（教科横断型問題）

調査結果からわかる本市の状況と学びの改善ポイント

「図や表、グラフ、短い文章、会話等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える」の区分では、理由や根拠を明確にして書く問題に課題が見られた。「根拠は資料と合っているか」の視点で読み合い、考えと資料のつながりをもとにして、より資料の妥当性を検討できるような過程を設定する。（問題番号1（3）より）

領域等別の結果、正答数分布グラフ（堺市と大阪府）

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			堺市	大阪府
全体		9	68.4	68.5
観点 1	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	5	67.9	68.4
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	3	63.4	63.8
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	2	73.0	73.6
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	76.5	76.6
	E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	83.6	82.5
問題をとらえる	文章から読み取る	4	63.0	63.7
	会話から読み取る	3	64.1	64.0
	図や表から読み取る	7	72.3	72.4
伝える	資料の情報を整理して伝える	7	65.3	65.5
	自身で考えたことを伝える	3	76.5	76.6
	理由や根拠を明確にして伝える	2	73.0	73.6
問題形式	選択	4	57.3	57.3
	図表	2	78.4	78.9
	記述	3	76.5	76.6

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

